# **,特 許 庁**

84 E 71

実用新案公報

实用新案出額公告 昭28-6522

公告 昭 28.7.16

出廊 昭 26.11.21

田

(前特許出願日援用)

**埃願 昭 27-21011** 

出願人 考案者 倉

高

新潟縣佐渡郡赤泊村大字赤泊189

(全2頁)

# 権の推進補助 装置

#### 図面の略解

第1図は本案裝置を設けた櫓の平面図、第2図は本案の側面図、第3図は本案の平面図である。

### 実用新案の性質、作用及效果の要領

本案は櫓の水攝翼部の先端表面に鰌の如く、水 攝翼板を更に附加的に設け、櫓の操作と共に水攝 翼板は水を掻き、舟の推進を容易ならしめるよう にした櫓の推進補助装置であつて、図中1は櫓の 水攝翼部、2は櫓の水攝翼部を帯狀に卷き裏面を 櫓に固着せしめたる台板、3は台板に取付けたる 山形板、4は山形板の中央垂直辺に設けたる繋番 5は繋番を介して取付けたる水攝翼板、6は水攝 翼板の運動を制御する為両面同位置に取付けたる 制止突起板、7は櫓腕を示す。

山形板3は水掻翼板5を螺番4にて完全に保持 田来、また制止突起板6の先端を完全に支へ侵る 程度にて、なるべく小形にする、即ち山形板3は 櫓の水掻翼部1の姿面に固定した突起部になり、 櫓の水掻作用上に於て僅かながら不用の抵抗を生 する為である、櫓漕運動は、櫓腕7を前方に押し 出し、それを逆に引き返す、この動作を繰返し行 でよるのであるから、本案の装置は、櫓腕7を前方 に押し出す場合、水扱翼板5は水に抵抗し、制止 突起板6及び山形板3によつて支へられ、第1図 に示す如くになり水を掻く、格腕7を逆に引き返 す場合は、其の反対の狀態に変り水を掻く、即ち 櫓の水掻翼部1に水掻翼板5は併行し間断なく共 に水掛作用をなするのである。

本案は魚が尾餅の運動にて前進する作用を櫓に応用せるものにして、即ち水攝翼板5は魚の尾鰭に該当し、其の水攝きは松本来の推進力と併行し極めて有効な均加推進力を生ぜしむるものである。 一新の如くにして本案を櫓に装置すれば多大の効果を得られ、本案を櫓の推進補助装置として極めて有用のものである。

## 登録請求の範囲

図に示す通り、櫓の水極翼部1の先端に、台板2を帯状に発き、裏面を枘に固着せしめ、其の台板2に山形板3を取付け、この山形板3の中央垂直辺に蝶番4を設け、其の蝶番4を介して水極翼板5を取付け、水抵翼板5の両面同位置に制止突起板6を取付けて減る、櫓の間推進補助装置の構造。

如指被工作的人。如此被收 改

Gibbs >

第1図

24.50

为结点 医现在物理性 1967 [88] 樹を見ったいべきからから株園 藏土性 學是一 多漢 医骨柱成体 在衛門等衛子與中國門與福門就是十分 自称 一知 进入了国际公司中部创新建立 门面建筑工工机 4 5 do No. 1 4 3. 28两次的,然后也是1960年1 MBB等 网络特殊自身支持的 湯 だっこうれが、ケックの · 學 一文 写 (如 ) 多麗 (4計 ) 《 A (4 ) · (5 ) · (4 ) · (4 )

图 海 5 文 1 图 2 494 疑价,当然为"多分为别"。 多一块 在150条件的用意 TOO 160多 数能があいないまちゃ 1 提升提升的的特殊也许可以清楚。 著作変数形 まじか・め

「製造の かんだ」 立。"彭明四年,奔到宋朱紫辉立 一点点得到的。15、次,他是国际内外的成立。 2 1 1 1 1 1 1 2 2 **第3図** 自みまた 1 2 競集の財 公司 化自己 医复数自动物 化加强自动表示增强法 と 国際高い、自済電纜電子

34 1 5 3 与安装原文的。张品 77年21日 11日 11日本 1 MEXA 1 ... にいいがあわれ Contraction of the second Bill Ladings of X 静心 前的 **拉拉。 2014年晚晚**的

工程的可能就可能需

**新山水路線、水山岩** 

5家子自中族最后共享開始。